

ぞうさん広場

vol.14
2017冬号



インタビュー
特集

高い技術力が実現する“患者さんに優しい医療” 泌尿器科が先導する 安全・安心で高度な医療提供



看護師の活動紹介
ダビンチチームナース

最近の出来事
平成29年6月より堺市民対象の
前立腺がん検査が導入されました!

手術支援ロボット
「ダビンチ」とは?

がんセンター特集
前立腺がんに対する「放射線治療」

私たちも、手術をサポート!!
ダビンチ手術における臨床工学技士の役割

登録医紹介
こんにちは赤ちゃん
健康食のススメ

泌尿器科
特集

こんにちは赤ちゃん/
当センターでたくさんの赤ちゃんが生まれています!



叶(かな)ちゃん
平成29年8月1日生

♡welcome♡

緑ちゃん愛ちゃん、そして叶ちゃん。お母さんの宝物が3つになりました。生まれてきてくれて有り難う。ずっと仲よし3姉妹でいてね。



柊侑(しゅう)くん
平成29年8月15日生

♡welcome♡

予定日を過ぎてもなかなか生まれ来ず、待ちに待った誕生☆お腹にいた時から元気いっぱい柊侑くん、毎日の成長が楽しみです♪



凜太郎(りんたろう)くん
平成29年8月22日生

♡welcome♡

りんたろうが産まれてからお父さんもお母さんも毎日とても幸せです。産まれてきてくれてありがとう。元気いっぱい成長していきな。いっぱい遊んで楽しく過ごしていこうね♡



琴音(ことね)ちゃん
平成29年8月31日生

♡welcome♡

元気に生まれてきてくれてありがとう。これからも元気にすくすく大きくなっていてね♡

健康食のススメ

血糖値が
気になる方へ 豆腐つみれの
しょうがあん

野菜やきのこに多く含まれる食物繊維は血糖値の上昇を緩やかにしてくれます。ぜひ、旬の野菜をたっぷり取り入れましょう。また、つみれは豆腐を使うことでエネルギーを抑えることができます。

豆腐を使って
ヘルシーに♪

栄養価(1人分)
エネルギー 229kcal
塩分 0.9g



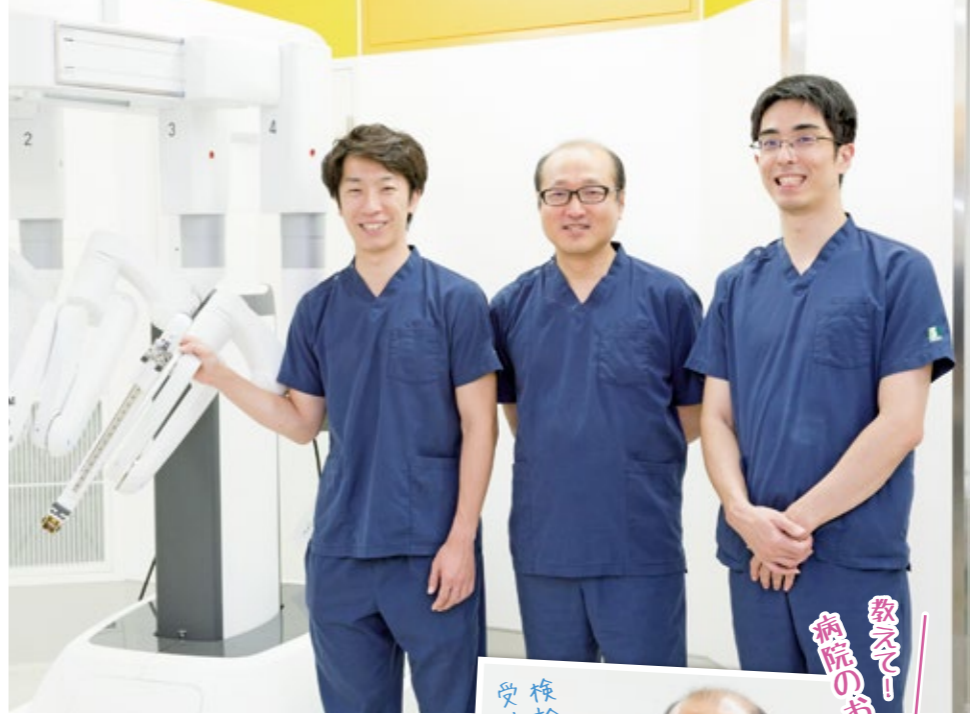
材料(2人分)	豆腐	1/4丁(90g)	小松菜	1/10束(40g)
	鶏むねミンチ	140g	だし汁	200ml
	人参	1/8本(30g)	薄口醤油	小さじ1
	れんこん	1/4筋(50g)	みりん	小さじ1
	塩	少々	おろししょうが	5g
	大根	5cm幅(125g)	片栗粉	大さじ1
	しめじ	1/3房(45g)		

【作り方】

- 豆腐はキッチンペーパーで水気をとっておく。
 - 人参、れんこんはみじん切りする。
 - ポウルにAを加えてよくこね、8等分にして丸める。
 - 大根は皮をむき、食べやすいよう厚めの半月切りにする。しめじは石づきを取り、手でほぐす。小松菜はヘタを落とし5cm程度の長さ切る。
 - 鍋にB、③のつみれ、④の具材を入れ、煮る。
 - 煮立ったら、おろししょうがと同量の水で溶いた片栗粉を入れて、とろみをつけたら完成。
- 栄養管理科 西馬 沙樹

高い技術力が実現する「患者さんに優しい医療」 泌尿器科が先導する 安全・安心で高度な医療提供

保険適用に伴い、他の診療科に先駆けてロボット支援手術を導入した泌尿器科。増加が予想される前立腺がんの現状や、今後の取り組みについて話をお伺いしました。



教えて！
病院のお仕事



左から：
泌尿器科 医師 富山 栄輔 医師
泌尿器科 部長 高山 仁志 医師
泌尿器科 医師 関井 洋輔 医師

泌尿器科ではどのような疾患を扱うのですか？

泌尿器科は外科の一部ですから手術が中心です。前立腺がん、腎臓がん、膀胱がんといった悪性疾患に対して、手術や化学療法、放射線治療などを行っています。「地域がん診療連携拠点病院」に指定されていることもあって、悪性腫瘍に対する手術が増えていきます。がん患者さんに、腹腔鏡による低侵襲手術やダビンチを用いたロボット支援手術といった、高度で安全な最新医療の提供や救急医療にも対応しています。

腹腔鏡手術を積極的に
行っておられますね。

手術の9割ほどが腹腔鏡による手術です。他院ではあまり扱われていない、膀胱がんの腹腔鏡手術も行っています。開腹手術に比べて高い技術を要求されますが、患者さんの負担軽減と精密な手術が行えると言った意味で、腹腔鏡手術は優れています。当院は患者さんに負担の少ない治療を心がけていますので、新しい技術は積極的に取り入れていきたいです。

50歳以上の男性は
年一回のPSA検査を！

前立腺がんの可能性があるかどうかを調べるPSA検査。堺市では平成29年6月より堺市民の50〜69歳男性を対象に前立腺がん検査が導入され、費用負担が軽くなりました。

4ページで詳しく紹介していますのでご覧ください。



堺市で前立腺がん検査が導入されましたね。変化はありましたか？

前立腺がんの初期段階で受診される患者さんが増えました。前立腺がんは初期の自覚症状が少ないため、これまではかなり進行してから受診される患者さんが多かったのですが、PSA検査によって早期発見ができるようになりました。しかし、早期に発見されるケースが増えてきたとは言え、まだまだ検診率は低いです。例えばPSA検査が導入されても検査を受けていただかないことには発見も治療もできません。だからこそ、特に50歳以上の男性には定期的に前立腺がん検査を受けていただきたいです。



地域連携バスによる
地域医療連携

地域連携バスとは、当院と地域の医療機関が患者さんの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。このバスの活用で、専門的な医療と総合的な診療をバランスよく提供する体制の構築をめざしています。



「ダビンチ」による
ロボット支援手術について
お聞かせください。

当院は堺市内で初めてダビンチを導入し、現在、ダビンチを操作する認定資格を取得

泌尿器科としての
今後の取り組みは？

今後、ダビンチ手術の保険適用範囲は広がっていくと思います。医師をはじめ看護師や臨床工学技士が泌尿器科でその基礎を作り、スタッフが慣

地域の医療機関や皆さん
にメッセージをどうぞ。

地域の医療機関との連携なくして市民の皆さんの健康は守れません。ご紹介、ご来院いただいた患者さんに最適な医療を提供するため、最先端医療を積極的に取り入れ、スタッフ一同、日々研鑽に努めてまいります。



れていけば、他の科で保険適用が始まった際にスムーズに手術が開始できます。ですから、ダビンチ手術を受ける病院として選んでいただけるように自己研鑽に努めており、きちんと段階を踏んで安全・安心な医療が提供できればと考えています。

平成29年6月より堺市民対象の 前立腺がん検査が導入されました!

男性のがんのうち胃、大腸、肺に次いで4番目に多い「前立腺がん」。近年もっとも増加傾向にあるがんとして注目されており、将来は男性のがんの第1位になると言われています。堺市では、市民の50～69歳の男性を対象に、前立腺がんの早期発見に有効とされる「PSA検査」が導入され、他のがん検診と一緒に検査が可能になりました。

最近の 出来事

前立腺がんの早期発見・早期治療のためにPSA検査を!

前立腺がんは高齢者のがんと言われており、患者さんの約9割が60歳以上の男性です。初期の自覚症状が少なく、なかなか自身で気づきにくい疾患です。自覚症状が出たころには、すでのがんが進行しており、その段階になると命を落とすリスクやがんが転移するリスクが高まってしまうからです。だからこそ定期的に検診を受けて、早期発見・早期治療をすることが大切です。

PSA検査とは?

前立腺がんの可能性があるかどうか分かる血液検査です。

血液検査でPSA(前立腺特異抗原)値を測定し、その値が年齢別に設けられた基準値以上の場合は前立腺がんの疑いがあります。ただし、数値が基準値を超えたからといって、必ずしも前立腺がんとは限りません。前立腺肥大症や炎症が起きている場合も数値は高まります。



1度受ければ大丈夫?

そういうわけではありません。特に50歳以上の男性には年1回のPSA検査をおすすめします。なぜなら、前立腺がんの危険因子の一つとして「年齢」があげられており、50歳を過ぎると急激に罹患率が増加するというデータが出ています。

当院だけでなく、お近くの前立腺がん検査実施協力医療機関で受けていただける検査ですので、積極的な受診を心がけてください。

■堺市に導入された前立腺がん検査の概要

対象	堺市民のうち50～69歳の男性
検査内容	問診、血液検査(PSA値測定)
費用	1,000円
条件	他のがん検診・特定健康診査を受診される方に限ります

前立腺がんに限らず、がんは早期発見がとても大切です。早期発見により治療の選択肢が増えることも「PSA検査」の利点です。

堺市は政令指定都市の中でも検診の受診率が低いという統計が出ています。今回、堺市に「前立腺がん検査」が導入されたことで、費用負担が軽くなり受けていただきやすくなりました。以前に比べて早期段階で、当院への受診が増えています。定期的にPSA検査に来てください。結果によっては精密検査にも対応しております。

※当院は、堺市の前立腺がん検査実施協力医療機関です。



看護師の活動紹介



ダビンチ手術を
支えています!



「ダビンチチームナース」

当院は平成28年4月に堺市内で初めて手術支援ロボット「ダビンチ」を導入し、これまで多数の前立腺がんや腎がんの手術を行ってきました。

ダビンチ手術は、医師が手術台から離れて機械を操作するため、チームのサポートが必要不可欠です。手術が安全に行えるように看護師が中心となり、日々、チームの連携を高めています。

今回は「ダビンチチームナース」の活動についてご紹介します。

堺市内でダビンチを初導入!

ダビンチとは米国で開発された最先端の手術支援ロボットです。ダビンチを使用した手術は、ロボットが自動的に手術を行うものではありません。医師が手術台から離れた操作ボックスで3D画面を見ながらロボットアームを遠隔操作し、ロボットはその動きを繊細かつ正確に支援します。

そのダビンチを当院が堺市内で初めて導入し、その際に「ダビンチチームナース」が誕生しました。

導入前にはチームで何度も話し合いを

ダビンチ導入前に看護師が中心となって執刀医、麻酔医、臨床工学技士と打ち合わせを重ね、マニュアルを作成しました。そして、それを基にして実際にシミュレーションを行いながらチーム内で改善点を話し合いました。

ダビンチを使用した手術時の患者さんの姿勢は、頭低位で頭側が20度下がり、ダビンチの機械が手術台の上に覆いかぶさる状態になります。そのため、手術中に患者さんの状態を確認することや、傾斜による身体の圧迫を無くすることが困難です。そこで、看護師が術中の体勢を実際に経験して体位のマニュアルを作成し、圧迫による皮膚トラブルや神経障害の予防を検討しました。



ダビンチチームナースに求められること

手術中に患者さんの体の上を動くダビンチの機械が、前胸部や顔面に当たらないように除圧道具で保護し、手術が安全に行えるようにチーム内で話し合いながら、さまざまな対策を練りました。また、手術中、執刀医は機械を操作しており、助手はモニターに集中しています。そのため、看護師が中心となってトラブルに対応することが多くなります。緊急時に適切な対応ができるよう、看護師もダビンチのシステムや特徴を十分に理解しておく必要があります。

改善を繰り返しながら現在まで順調に手術が行われています。平成29年6月からダビンチによる腎がん手術が始まり、ますますダビンチチームの活躍が求められています。患者さんが安全・安心に手術が受けられるように、チームの一員として今後もダビンチ手術に関わっていきたくと考えています。

手術センター 松田 高明

堺市内初導入!

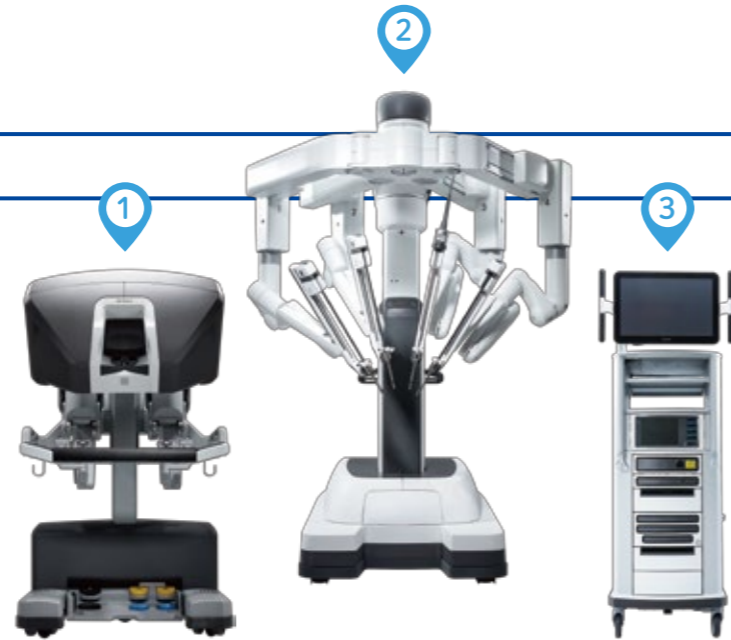
手術支援ロボット「ダビンチ」とは?

ロボットが手術をする…?!

手術を行うのはあくまで医師で、ロボットが自動で手術を行うわけではありません。“ロボット支援”という名の通り、ダビンチという手術用ロボットが腹腔鏡手術の支援をします。

内視鏡カメラとアームを患部に挿入し、執刀する医師はロボット操作用の台である**コンソール①**から、3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きが**ロボット②**に伝わり、手術器具が連動して患者さんに触れることなく手術を行います。

また、サポートする医師や看護師は、**モニター③**を見ながら手術を行います。



ダビンチ手術のメリット

当院は、患者さんの体への負担が少ない手術の提供を目的として、平成28年4月より手術支援ロボット「ダビンチ」を導入しました。ダビンチ手術は、鏡視下手術と同様に患者さんの体に小さな穴を開けて行う低侵襲手術で、さまざまなメリットがあります。

メリット01 **手術中の出血量が少ない**
炭酸ガスでおなかを膨らませて、おなかの中に手術する空間を作ってから手術を行うため、通常の開腹術と比べて出血量が極めて少なく済みます。

メリット02 **小さな傷口**
腹部に約1cmの小さな穴を6カ所あけ、アームを挿入して手術を行いますので、極めて小さな傷口で済みます。

メリット03 **術後の疼痛が軽減できる**
傷口が小さく、接触範囲も最小限で済む手術ですので、皮膚や筋肉を切開した痛みはほとんどありません。

メリット04 **回復が早い**
傷口が小さいため、手術後の回復が早く、入院期間が短くなります。

メリット05 **機能温存の向上**
ロボットによる操作と3D画像(ズーム機能により最大15倍の拡大視野が得られる)により緻密な鉗子操作が可能となり、機能温存が向上します。

メリット06 **合併症リスクの大幅な回避**
手術後の痛みも少なく、手術の翌日には歩行可能で、すぐに動けるので血栓ができにくくなり、合併症のリスクを減らすことができます。



手術の翌日には歩行可能に!
手術後、約10日程度で退院まで。

入院から退院までの流れ

〈前立腺がん手術の場合〉※患者さんの病状により異なります

1 入院(手術前日)

- 採血など術前検査、手術・麻酔の説明
- 夜9時以降飲食禁止

2 手術当日

- 手術着、弾性ストッキングの着用
- 手術室に入室、手術前に点滴し麻酔開始
- 手術
- ドレーン・尿道バルーンカテーテル挿入
- 手術後は、ベッド上で安静

3 手術後1日目

- 歩行可能

4 手術後2日目

- 行動制限なし

5 手術後3~4日目

- ドレーン抜去

6 手術後7日目

- 膀胱造影を行い、膀胱と尿道が漏れなくつながっているかを確認して尿道バルーンカテーテルを抜去

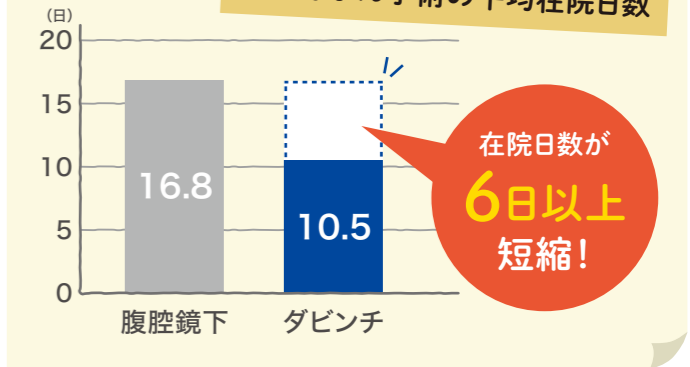
7 手術後10日目

- 退院

最新機種の「da Vinci Xi」を導入!



前立腺がん手術の平均在院日数



健康保険適用なので
費用負担が従来通り!

費用について

ダビンチによる手術のうち、平成24年4月より前立腺摘出術が、平成28年4月より腎部分切除術が健康保険の適用となりました。

そのため、先進的な医療であるにも関わらず、医療費の負担は従来の手術と変わりません。

また、高額療養費制度を利用することで負担を少なくすることが可能です。

詳細については、医事課(TEL.072-272-5858)までお問合せください

自由自在に動く
鉗子の先端は5mm
精密な操作が可能に!



執刀医は
ここからロボットを
遠隔操作!

当院の登録医の先生をご紹介します



堺区三国ヶ丘御幸通
児玉 泌尿器科
児玉 光正 院長



南区茶山台
前川 泌尿器科
前川 たかし 院長



堺区向陵中町
菅野 クリニック
菅野 展史 院長



西区神野町
津久野藤井 クリニック
杉山 高秀 院長

◆ 当院の特長

開院当初は人工透析と内科を扱っていましたが、泌尿器科をはじめるとになり、4年前に私が赴任しました。私の専門分野である排尿障害を中心に前立腺肥大症や神経因性膀胱などの診療を行っています。最近が高齢者の男性では前立腺がん、女性では過活動膀胱の患者さんからのご相談が増えてきました。また、堺市立総合医療センターが近いこともあり、連携をとりやすい診療体制を整えています。

◆ 私の診療モットー

患者さんは高齢の方が多く、分かりやすく丁寧な説明を心がけています。検査もなるべく侵襲のないもの

◆ 当院の特長

当院は、取り扱いの少ない分野である男性更年期障害に力を入れています。女性同様に男性も歳を重ねることで男性ホルモンが減少し、うつのような症状や関節痛、EDなどさまざまな症状が現れます。そのような症状の方に対して血液検査を行い、必要な場合は男性ホルモンの補充療法を行います。もちろん排尿障害や感染症の他にも、私自身が専門としておりますので、前立腺がんの精密検査に対応しています。

◆ 私の診療モットー

満足のいく医療を患者さんに提供し、笑顔で帰っていただきたいとい

◆ 当院の特長

この土地に開業して16年になります。堺の中でも泉北は高齢者が増え、堺の中で最も男女ともに高齢の方が多くです。年齢と生きる意欲は、反比例する傾向にあります。当院は、高齢者の方が地域の中で人の繋がりをつくり、生きる目的を持って元気に過ごしていただくためのきっかけづくりの場でありたいと考えています。

◆ 私の診療モットー

基本的なことですが、患者さんの話をきちんと聞くことを大切にしています。尿のことを気にしすぎて頻尿になっている方が多くおられます

◆ 当院の特長

当院は、昭和49年に父が開業し、平成14年に私が引き継ぎました。開業前は、堺市内には泌尿器科の開業医が1件もなかったため、堺の中心に開院したのが始まりです。長年に渡り地域に密着した医療を提供していますので、10年前の患者さんが受診に来られることもあります。そういった場合のためにも、開院当時のカルテは全て保管しています。

◆ 私の診療モットー

患者さん一人ひとりに合わせた医療の提供と、患者さんと科学的な根拠を共有して一緒に治療方針を決定することを心がけています。過去の

からはじめて、患者さんの負担を少なくするようにしています。排尿障害の治療は生命に関わるものというより、生活の質を向上させるためのものです。治療を負担に感じる方には無理には勧めませんが、気になる症状がある場合は、前立腺がんとの鑑別が必要ですので、一度診察に来ていただきたいというのが私の診療方針です。

◆ 地域の皆さんへのメッセージ

泌尿器科は下半身の疾患を扱いますので、抵抗があったり行きにくいイメージがあったりしますが気軽に来院いただければと思います。頻尿や失禁などの排尿障害は治療で改善できますので、いつでもご相談ください。

◆ 地域の皆さんへのメッセージ

う気持ちで診療にあたっています。また、どの科で診察を受ければいいのか分からないという患者さんが多いので、紹介する病院や患者さんの負担も考えながら、適切な役割分担を心がけています。そのためには、症状の分析をきちんと行うことが大切だと考えています。

◆ 地域の皆さんへのメッセージ

泌尿器科は数層が高いイメージがあり、症状が進行してから来られる方が多いです。しかし、悪性疾患を患っている場合がありますので、少しでも気になることがありましたら、早めに相談に来てください。

◆ 地域の皆さんへのメッセージ

ので、排尿記録をつけていただき、ご自身の排尿状況を客観的に見ていただくようにしています。そうすることで、症状が改善することもあり、無駄な薬の処方を防ぐことができます。治療というよりも予防が大切だと考えていますので、自律神経機能を高めるためのアドバイスをするように心がけています。

◆ 地域の皆さんへのメッセージ

地域の高齢化が進むなか、泌尿器疾患の診療・治療だけでなく、市民のみなさんがいつまでも健康で自立度の高い生活ができるお手伝いをしたいと考えています。いつでもお気軽にご相談ください。

◆ 地域の皆さんへのメッセージ

データに基づいた治療は大事ですが、すべての患者さんに当てはまるとは限りません。ですから、「とりあえず検査」や「念のため処方」は行わないようにしています。過去データはあくまで参考として、個々の症状を細かく診断する、いわば「オーダーメイド医療」を大切にしています。

◆ 地域の皆さんへのメッセージ

過去の検査データや医療機関でもらった検査結果は大切に保管しておいてください。また、服用している薬についても受診の際に必ずお伝えください。薬の相互作用で思わぬ副作用を起こさないためにも、ご協力をお願いします。



診療科目／泌尿器科
診療時間 月 火 水 木 金 土 日
10:00~13:00 ○ ○ ○ ○ ○ △ /
15:00~18:00 ○ ○ ○ / ○ / /
△土曜の午前は12:00まで

堺市堺区三国ヶ丘御幸通8 三国ヶ丘ビル4F
★南海高野線「堺駅」より徒歩約5分
TEL:072-222-1717



診療科目／泌尿器科
診療時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00~12:00 ○ ○ ○ / ○ ○ /
17:00~19:00 ○ ○ / ○ ○ / /

堺市南区茶山台1丁6-1 ステーションプラザ泉ヶ丘3F
★泉北高速鉄道線「泉ヶ丘駅」より徒歩約3分
TEL:072-295-3731



診療科目／泌尿器科
診療時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00~12:00 ○ ○ / ○ ○ ○ /
16:30~19:00 ○ ○ / ○ ○ / /

堺市堺区向陵中町2-6-1 5F
★JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」より徒歩約1分
TEL:072-258-0666
http://www.kanno-clinic.com/



診療科目／泌尿器科、内科、整形外科、禁煙外来、人工透析
診療時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00~12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○ /
16:00~18:00 ○ / ○ / ○ / /

堺市西区神野町3-2-28
★JR阪和線「津久野駅」より徒歩約10分
TEL:072-272-1361
http://www.ryoshukai.or.jp/medical/tsukuno/

私達も、手術をサポート!!



ダビンチ手術は機械が勝手に行うものではありません。
他の手術同様に医師・看護師・その他の医療スタッフと連携して病院全体で成し遂げるものです。
私たち臨床工学技士は、医療機器のスペシャリストとしてダビンチ手術のサポートをしています。

ダビンチ手術の風景



ダビンチ手術では
たくさんの医療機器が
使われています!

ダビンチの特徴は、人間の手の動きを忠実に再現できることです。こんなに大きい機械なのに細かな作業が得意なのです。
ただ、なんといっても機械。正しく使用しないと、誤作動を起こしたり患者さんに障害を与えたりするかもしれません。

手術中は操作をサポート!



手術前の機器の準備・点検、手術中の他のスタッフのサポートやトラブルシューティングなどを主に担当しています。



隅々までチェック!



連動確認はしっかりと



電気メスの点検も忘れずに



看護師とも協力して準備



動作確認は入念に…!

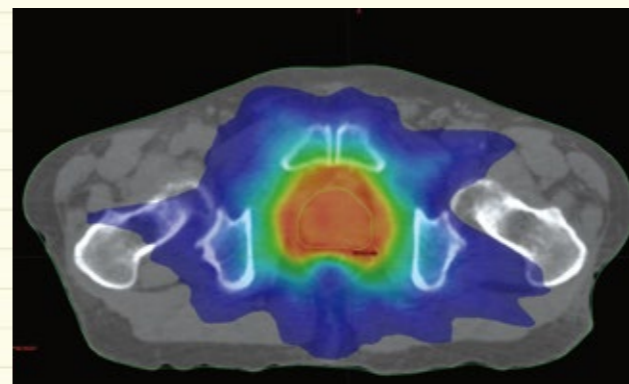
精密に作動しなければならない機器だからこそ、異常がないか入念に確認します。そして全員が安心して手術に集中できる環境を作れるように頑張っています。

最新の放射線治療技術

当院では前立腺がんに対して、最新の放射線治療技術を用いたIMRT※1を適用しています。放射線を前立腺のみに集中させつつ、近接する直腸や膀胱にできるだけ照射しないようにすることで、副作用の低減を図っています。また、画像誘導放射線治療 (IGRT) ※2の機器も装備しており、照射の位置誤差を最小限にしています。



放射線治療装置(リニアック)▶



- ※1 コンピューターを利用し、照射野の形状を変化させたビームを複数用いて腫瘍の形に適した照射を行う方法
- ※2 画像情報をもとに、治療位置誤差を同時補正しながら、正確に照射を行う方法

◀IMRTの線量分布図



IMRTを積極的に行っています!

- 1 限局性前立腺がんに対して手術と同様の根治治療として
- 2 手術では根治が困難な局所進行性前立腺がんやリンパ節転移陽性前立腺がんに対する根治治療として
- 3 手術後に局所再発と診断された場合に根治が期待できる救済治療として

限局性前立腺がん・局所進行性前立腺がんに対してはその他の治療が選択肢になる場合もありますので、これらの経験・知識を持つ医師からアドバイスを行っております。

去勢抵抗性前立腺がんの骨転移には…

内分泌療法が効かなくなった去勢抵抗性前立腺がんに対しては、これまでは化学療法しか選択肢がありませんでしたが、骨転移のみに対しては近年放射性医薬品抗悪性腫瘍剤ゾーフィゴが保険適用となり、当院でも治療を開始しています。ゾーフィゴ (Ra-223) を最大6回静脈注射し、骨転移部位を治療します。



前立腺がんの根治治療をめざして
前立腺がんの治療において、放射線治療は非常に重要な役割を担っています。当院の放射線治療科では、平成27年移転後にリニアックによる放射線治療を再開し、平成28年からは強度変調放射線治療 (IMRT) を行っています。
現在、ほとんどの前立腺がんに適用しており、手術はダビンチ(手術支援ロボット)、放射線治療はIMRTと、あらゆる病期に対して対応できる体制となっています。

「放射線治療」

前立腺がんに対する

がんセンター特集